

広島県告示第428号

瀬戸内海環境保全特別措置法（昭和48年法律第110号）第5条第1項の規定による特定施設の設置許可の申請があったので、同条第4項の規定によって、その概要を次のとおり告示する。

平成30年5月1日

広島県知事 湯 崎 英 彦

1 申請者の住所及び氏名並びに工場又は事業場の所在地及び名称

申請者の住所及び氏名	東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号 株式会社DNPファインオプトロニクス 代表取締役 土屋 充
工場又は事業場の所在地及び名称	広島県三原市沼田西町小原73番地の1 株式会社DNPファインオプトロニクス 三原東工場

2 申請の内容

65 酸又はアルカリによる表面処理施設4基を設置するとともに、65 酸又はアルカリによる表面処理施設1基を廃止する。また、排水処理施設における汚水等の汚染状態及び量を変更する。

(1) 特定施設の種類、能力及び使用の方法

(その1) 65 酸又はアルカリによる表面処理施設1基 廃止

(その2) 新設

種	類	65 酸又はアルカリによる表面処理施設（スピン式基板洗浄機）
能	力	ガラス基板製品 36枚／日
工期等	工事着手予定年月日	許可後直ちに
	工事完成予定年月日	着工後直ちに
	使用開始予定年月日	完成後直ちに

使用 の 方 法	使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)		連続, 12時間/日 (なし)		
	項 目		通 常	最 大	
	排出 される 状態	水素イオン濃度 (水素指数)		7~10	7~10
		(mg/L)	生物化学的酸素要求量	<5.0	<5.0
			化学的酸素要求量	15	25
			浮遊物質質量	<10	<10
			窒素含有量	20	32
			磷含有量	1.0	1.5
			鉄含有量	ND	ND
排出される汚水等の1日当たりの量 (m ³)		1	6		

(その3) 新設

種 類	65 酸又はアルカリによる表面処理施設 (小型現像機)				
能 力	ガラス基板製品 40枚/日				
工期等	工事着手予定年月日	許可後直ちに			
	工事完成予定年月日	着工後直ちに			
	使用開始予定年月日	完成後直ちに			
使用 の 方 法	使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)		連続, 12時間/日 (なし)		
	項 目		通 常	最 大	
	排出 される 状態	水素イオン濃度 (水素指数)		7~10	7~10
		(mg/L)	生物化学的酸素要求量	<5.0	<5.0
			化学的酸素要求量	15	25
			浮遊物質質量	<10	<10

方法	れる状態	窒素含有量	20	32
		燐含有量	1.0	1.5
		鉄含有量	ND	ND
	排出される汚水等の1日当たりの量 (m ³)		0.1	0.1

(その4) 新設

種	類	65 酸又はアルカリによる表面処理施設 (ガラス基板洗浄装置)			
能	力	ガラス基板製品 1,800枚/日			
工期等	工事着手予定年月日	許可後直ちに			
	工事完成予定年月日	着工後直ちに			
	使用開始予定年月日	完成後直ちに			
使用の方法	使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)		連続, 12時間/日 (なし)		
	項	目	通常	最大	
	排出される状態	水素イオン濃度 (水素指数)		7~10	7~10
		(mg/L)	生物化学的酸素要求量	<5.0	<5.0
			化学的酸素要求量	15	25
			浮遊物質量	<10	<10
			窒素含有量	20	32
			燐含有量	1.0	1.5
	鉄含有量	ND	ND		
排出される汚水等の1日当たりの量 (m ³)		13	26		

(その5) 新設

種	類	65 酸又はアルカリによる表面処理施設（FMM-エッチング検証装置）			
能	力	金属エッチング製品 20枚/日			
工期等	工事着手予定年月日	許可後直ちに			
	工事完成予定年月日	着工後直ちに			
	使用開始予定年月日	完成後直ちに			
使用の方法	使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)	連続, 10時間/日 (なし)			
	項	目	通常	最大	
	排出される 汚水等の状態	水素イオン濃度 (水素指数)		2 ~ 4	2 ~ 4
		生物化学的酸素要求量	(mg/L)	32	32
		化学的酸素要求量		45	45
		浮遊物質質量		404	404
		窒素含有量		3	3
		磷含有量		0.2	0.2
鉄含有量	437	1,353			
排出される汚水等の1日当たりの量 (m ³)		10	30		

(2) 汚水等の処理の方法

(その1) 変更

		変更前	変更後
種	類	総合排水処理施設 凝集浮上処理装置	
工期	工事着手予定年月日	—	許可後直ちに
	工事完成予定年月日	—	着工後直ちに

等	使用開始予定年月日		—				完成後直ちに				
	使用の方法	汚水等の汚染状況 処理前処理後の	項 目		処 理 前		処 理 後		処 理 前		処 理 後
化学的酸素要求量			(mg/L)	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
			157.22	157.45	60	60	157.24	157.47	60	60	
	排出される汚水等の1日当たりの量(m ³)		1,945.3	2,263.5	1,945.3	2,263.5	1,944.7	2,262.8	1,944.7	2,262.8	

(その2) 変更

			変更前				変更後				
種 類			総合排水処理施設 凝集沈殿処理装置								
工期等	工事着手予定年月日		—				許可後直ちに				
	工事完成予定年月日		—				着工後直ちに				
	使用開始予定年月日		—				完成後直ちに				
使用の方法	汚水等の汚染状況 処理前処理後の	項 目		処 理 前		処 理 後		処 理 前		処 理 後	
				通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
		化学的酸素要求量	(mg/L)	22.32	22.8	16	16	22.37	22.85	16	16
		窒素含有量	(mg/L)	5.12	6.72	5.12	6.72	5.12	6.71	5.12	6.71
排出される汚水等の1日当たりの量(m ³)			4,364.2	4,936.9	4,364.2	4,936.9	4,374.2	4,966.9	4,374.2	4,966.9	

(その3) 変更

			変更前				変更後			

種 類		総合排水処理施設 生物処理装置								
工期等	工事着手予定年月日	—				許可後直ちに				
	工事完成予定年月日	—				着工後直ちに				
	使用開始予定年月日	—				完成後直ちに				
使用の方法	処理前処理後の汚染状況	項 目	処 理 前		処 理 後		処 理 前		処 理 後	
			通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
	化学的酸素要求量	(mg/L)	26.51	26.74	13	16	26.49	26.72	13	16
	窒素含有量		8.53	11.22	7.92	10.56	8.52	11.21	7.91	10.55
	排出される汚水等の1日当たりの量(m ³)		7,391.5	8,373.4	7,391.5	8,373.4	7,400.9	8,402.7	7,400.9	8,402.7

(その4) 変更

		変更前				変更後				
種 類		総合排水処理施設 濾過活性炭処理装置								
工期等	工事着手予定年月日	—				許可後直ちに				
	工事完成予定年月日	—				着工後直ちに				
	使用開始予定年月日	—				完成後直ちに				
使用の方法	処理前処理後の汚染状況	項 目	処 理 前		処 理 後		処 理 前		処 理 後	
			通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
	窒素含有量	(mg/L)	7.92	10.56	7.92	10.56	7.91	10.55	7.91	10.55

	排出される汚水等の1日当たりの量(m ³)	7,391.5	8,373.4	7,391.5	8,373.4	7,400.9	8,402.7	7,400.9	8,402.7
--	-----------------------------------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------

(その5) 変更

		変更前				変更後				
種 類		C系排水処理施設 凝集沈殿処理装置								
工期等	工事着手予定年月日	—				許可後直ちに				
	工事完成予定年月日	—				着工後直ちに				
	使用開始予定年月日	—				完成後直ちに				
使用の方法	汚水等の汚染状況	項 目	処 理 前		処 理 後		処 理 前		処 理 後	
			通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
	化学的酸素要求量	(mg/L)	144.44	154.73	40	60	145.1	155.39	40	60
	窒素含有量		11.55	22.02	11.55	22.02	11.63	22.13	11.63	22.13
	排出される汚水等の1日当たりの量(m ³)		1,859	2,196	1,859	2,196	1,849.6	2,166.7	1,849.6	2,166.7

(その6) 変更

		変更前				変更後				
種 類		C系排水処理施設 生物濾過処理装置								
工期等	工事着手予定年月日	—				許可後直ちに				
	工事完成予定年月日	—				着工後直ちに				
	使用開始予定年月日	—				完成後直ちに				
使	汚水	項 目	処 理 前		処 理 後		処 理 前		処 理 後	

用の方法	前等の汚染状態後の汚染状況			通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
		窒素含有量	(mg/L)	11.55	22.02	9.46	15.16	11.63	22.13	9.53	15.18
	排出される汚水等の1日当たりの量(m ³)		1,859	2,196	1,859	2,196	1,849.6	2,166.7	1,849.6	2,166.7	

(3) 排出水の汚染状態

変更なし

3 事前評価に関する事項を記載した書面の縦覧期間及び縦覧場所

(1) 縦覧期間

平成30年5月1日から平成30年5月22日まで

(2) 縦覧場所

広島県環境県民局環境保全課及び広島県東部厚生環境事務所環境管理課並びに三原市生活環境課